



指導班だより

学力向上に向けて Let's try !

全国学力・学習状況調査の結果が例年より1か月早い7月末に公表されました。指導班では、この結果を受けて、宮城県の喫緊の課題である「確かな学力の育成」に向けて、管内の小中学校で成果をあげている事例について分析し、9月以降各校で確認・取り組んでいただきたいことを大きく「3つのステップ」に分けて提案します。

【その1】「調査結果の確認・分析・課題の把握」

みんなで

- 調査結果を確認する
- 自校の傾向を分析する
 - ※全教師がAB問題を解いてみる
 - ※平成30年度版全学調「報告書」を活用する
- 自校の課題を明確にする

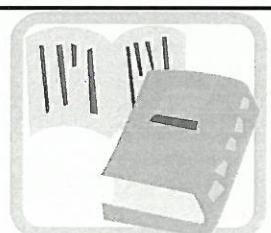


日々の授業で

- 提言3の「ねらいを明確に」「振り返り・まとめ」を重視する
 - ※授業に「課題用小黒板」を導入し、学校全体で取り組むことで「提言3」の意識調査達成率99%の例がありました
- 指導上のルール「板書計画・ノート指導・教室掲示等」の見直しをする
 - ※どの教師（教科担任・経験の浅い教師）も迷わず指導できます
 - ※中学校では、教科部・学年部毎での取組事例がありました
- B問題を授業中に発展問題として活用する
 - ※中学校では、「週末課題」にも活用していました

家庭と共に

- 宿題・家庭学習を丁寧に指導する
 - ※単元問題ライブラリーを積極的に活用する
 - ※自主学習は、内容と時間について事前に指導する
- 暗唱や音読、読書活動を奨励する



【その3】「宿題・家庭学習の質的向上、読書活動の奨励」